

みとよ DE 宗吉かわらの里

宗吉かわらの里 宗吉かわらの里をメインとしたウォーク

「寄道する代（よりみちするよ）先生」と生徒の「歩（あゆむ）君」が、「美歩（みほ）ちゃん」が、「駅からウォーク」で歩いた「宗吉かわらの里」を毎月紹介しています。

15回目は、5月10日にオープンした宗吉かわらの里をメインとしたウォーク「宗吉かわらの里 宗吉かわらの里をメインとしたウォーク」を紹介しています。

今回は、史跡や旧道など歴史を肌で感じ、楽しんでもらった約12.6kmのコースです。みの駅を出発し、宗吉瓦窯跡史跡公園を見学、仁尾へ続く旧道沿いの和菓子屋や出雲大社讃岐分院、不動の滝を巡り、本山駅へ向かいました。



宗吉かわらの里 展示館



最近オープンした「宗吉かわらの里 展示館」には、そこで掘り出された色々な瓦がきれいに展示されていたわ。館内では、ビデオでの解説や館長さんの説明があつて分かりやすかつたわね。

公園の中もゆっくり散策できるし、新しい三豊の魅力ができましたね。そこでは地域の人が作ったポイセンバリー入りの「瓦窯せんべい」のプレゼントがありましたね。そこから旧仁尾街道へ

仁尾街道には、いろいろなお店があつたわ。そのひとつの和菓子屋では、西讃特有のおいりを見たきました。僕は栗が1個まるごと入った「みとよ」というまんじゅうを見つけたよ。どれも美味しそうでしたわ。そして次には、昼食会場の出雲大社讃岐分院へ向けて歩いてみると、途中、三野津平野や三豊平野が見渡せるポイントが数箇所あつて、立ち止まって一息いれました。

厚食の前に宮司さんから、節分祭のことや旧仁尾街道、七宝山について説明がありました。

ここではなんと節分の前日と当日の2日間、豆がまかれていて、この豆を食べると1年間マメに暮らせるんだって。大黒様もいて、打ち出の小槌で体の悪いところを撫でてもらうと治ると言われているそうよ。

仁尾街道は江戸時代、港で栄えた仁尾町へ買い物に行ったり、商品を運んだりと多くの人が通っていたそうです。また、ここへ来るまでにも、常夜灯など昔を感じさせてくれる場所があちらこちらにありましたね。

最後は不動の滝カントリーパークへ。



▲ 不動の滝

50メートルの絶壁を流れ落ちる不動の滝（ ）は、いつ見ても気持ちがいいわ。滝をバックにカメラを構える人もたくさんいました。

「さめぎ百景」のひとつでもある不動の滝は、春は桜、初夏は新緑、秋は紅葉と四季それぞれの顔を見せるところなんですよ。また、その日は地元の方々が、産地直送で新鮮なねぎやせらまめの販売を行ってくれました。

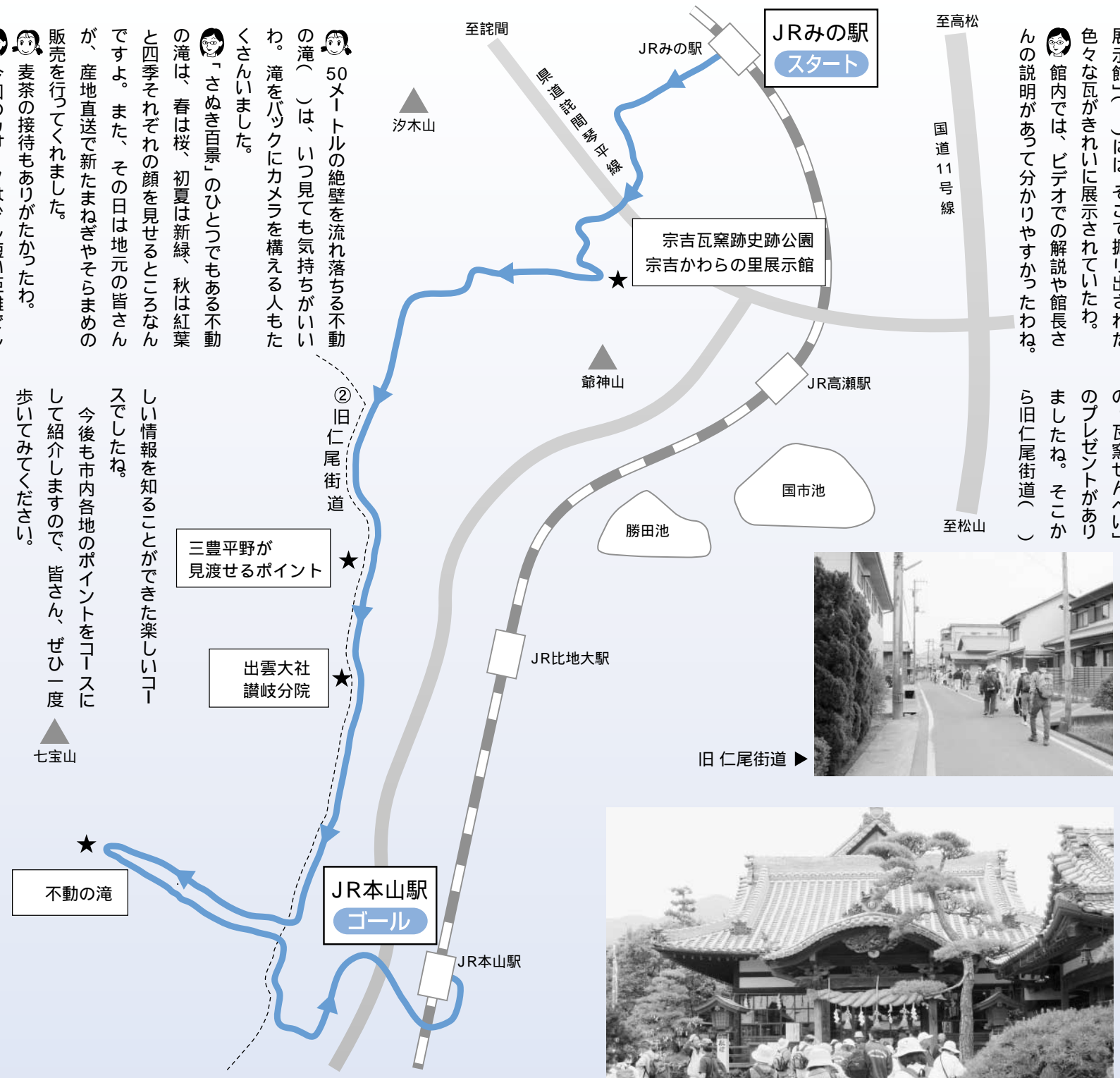
麦茶の接待もありがたかつたわ。今回のウォークは少し短い距離でしたが、オープンしたばかりの宗吉かわらの里展示館をはじめ、出雲大社などで新

地元のポイント

出雲大社讃岐分院宮司 西村さんからのメッセージ

出雲大社は縁結びと福の神で名高い大黒様などをお祭りしており、節分祭には多くの方が参拝されます。また、その日はあめ湯の接待もあります。

豊中には、四国88カ所70番札所の「本山寺」やどぶろくで有名な「宇賀神社」など多くの神社仏閣があります。ぜひ一度お越しください。



今後の市内各地のポイントをコースにして紹介しますので、皆さん、ぜひ一度歩いてみてください。

行き
三豊各地からコミュニティバスでJRみの駅までお越しください。

帰り
JR本山駅からコミュニティバスで三豊各地へお帰りください。

アクセス
JR本山駅からは、財田観音寺線をご利用ください。

アクセス
今回のコース

本文を参考に仲間や家族と一緒に思い思いのウォークを楽しんでください。問い合わせ 商工観光課 62・1129